

名前【 】

① 4月1日現在、子どもの推計人口は何人ですか？

[] 人

② 総人口に占める子どもの割合は何%ですか？

[] %

③ 人口に占める子どもの割合が高い都道府県トップ3はどこですか？

[] [] []

④ この統計で「子ども」とは、何歳以下をさしますか？

(注:「何歳以下」はその年齢を含みます)

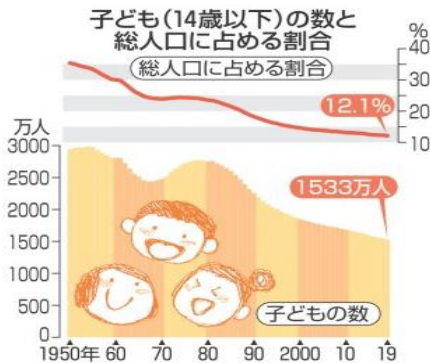
[] 歳以下

子ども 38年連続減少

平成30年間で3分の2に

推計1533万人

総務省が「子どもの日」に合わせて4日発表した15歳未満の子どもの推計人口(4月1日現在)は、前年より18万人少ない1533万人で、1982年から38年連続の減少となった。比較可能な50年以降、過去最少を更新。平成元年(89年)の2320万人から約30年間でおよそ3分の2に減ったことになり、少子化の進行を改めて印象付けた。時代が令和になっても歯止めをかけるのは容易ではない状況だ。



低いほど数が少なく、12~14歳の322万人に対して、9~11歳は321万人、6~8歳は309万人、3~5歳は295万人、0~2歳は286万人と減っていく。

2018年10月1日現在の子ども人口を都道府県別に見ると、東京都が前年比8千人増の155万人で、唯一プラスとなった。沖縄は前年と同じ24万7千人で、残る45道府県は全て減少した。人口に占める子どもの割合が最も高いのは

滋賀の14・0%、佐賀の13・6%の順。兵庫は12・5%で、全国15位だった。最

総人口に占める子どもの割合は前年比0・2%減の12・1%で、75年から45年続いた。

連続で低下。平成元年の18・8%からは6・7%低下した。

男女別の内訳は、男子85万人、女子748万人。3歳以下の区分では年齢が

沖繩の17・0%で、次いで滋賀の14・0%、佐賀の13・6%の順。兵庫は12・5%で、青森の10・8%、北海道10・9%と続いた。